



平成 17 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社雑貨屋ブルドッグ
代 表 者 名 代表取締役 内 山 恭 昭
(JASDAQ コード 3331)
問 合 せ 先 常務取締役 甘 利 武 彦
(TEL. 053-585-9001)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 4 月 1 日に公表した平成 17 年 8 月期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 8 月期連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 9 月 1 日 ~ 平成 17 年 8 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
前回発表予想 (A)	22,788	1,485	1,243	587
今回修正予想 (B)	22,944	1,796	1,830	866
増減額 (B - A)	156	311	587	279
増減率 (%)	0.7%	20.9%	47.2%	47.5%
(ご参考) 前期 (平成 16 年 8 月期)	20,134	1,978	1,818	915

2. 平成 17 年 8 月期個別業績予想数値の修正 (平成 16 年 9 月 1 日 ~ 平成 17 年 8 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
前回発表予想 (A)	22,325	1,279	1,277	587
今回修正予想 (B)	21,968	1,643	1,667	791
増減額 (B - A)	357	364	390	204
増減率 (%)	1.6%	28.5%	30.5%	34.8%
(ご参考) 前期 (平成 16 年 8 月期)	19,084	1,569	1,548	755

3. 修正の理由

第1四半期の主たる減収要因でありました、自動発注システム導入時に発生した運用トラブルによる商品供給への影響等を排除すべく、未だ十分とはいえませんが、早期に立て直しに取り組んだことが修正売上高の達成に一定程度寄与いたしました。

また、製造卸業であります子会社の㈱商研が当期開発いたしました商品で、バナナピース クッション等、バナナシリーズが爆発的なヒットとなったことも、修正連結売上高予算達成に貢献いたしました。その結果、連結売上高は0.7%修正予算を上回る見込みであります。

利益面におきましては、P B商品（プライベートブランド商品）の開発比率、売上高構成比率の向上やN B商品（ナショナルブランド商品）の一括発注による値入率の改善に加え、当期重点的に取り組んで参りました商品管理レベルの向上によるロスの削減等が奏効し、売上総利益率の改善が図れたこと、また、全社を挙げて取り組んだ経費削減効果等が、営業利益の改善に寄与いたしました。更に、円安の進行により、通貨オプションによる評価損（所謂、デリバティブ評価損）も縮小した結果、経常利益高は修正予想を47.2%と大幅に上回ることが予測されるため上記の通り修正いたします。

上記の予想は本資料の発表日現在における入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。